

令和3年8月5日

## 今般の総長選考についての追加的な補足説明

大阪大学総長選考会議議長

鈴木 直

大阪大学総長選考会議としては、令和3年5月25日に決定した次期総長予定者の選考理由及び選考過程について、同日付けで公表した「総長予定者の決定について」及び6月16日付けで公表した「総長予定者の決定について(補足説明)」においてご説明してきたところです。

このことに関し、学内関係者より、新たにご質問等が寄せられたことを踏まえ、下記のとおり追加で補足説明をいたします。

### 記

#### 1 学内意向調査において最多の得票を得た候補以外の候補を選考した理由について

総長選考会議における審議に当たっては、委員間の率直な意見交換を促し、もって会議としての判断の公正性を確保するため、予め議事を非公開とすることを確認して議論を行いました。このため、会議において交わされた議論の具体的な内容についてご説明することは、基本的に差し控えさせていただきたいと思っております。

総長選考会議として学内意向調査の結果最多の得票を得た候補以外の候補を選考した理由は、当会議が5月25日に公表した「総長予定者の決定について」に記載した「選考理由」の内容にすべて尽きていますが、上記の議事に関する取り扱いの基本に反しない範囲でできる限り丁寧に説明を尽くすために、選考過程で交わされた議論について、次のとおり補足的にご紹介いたします。

5月25日の会議では、意向調査の結果の取り扱いについて、意向調査の結果は一定の学内構成員の意思として尊重する必要がある、意向調査の結果の取り

扱いに関して総長選考会議に突き付けられている責務は重い、仮に西尾候補を選考する場合は澤候補より優れている点を明確に説明する責任がある、といった意見等がありました。

こうした意見も踏まえ、総長選考会議としては慎重な議論を重ねたところであり、西尾候補の評価に関し、他の候補との比較も行いながら、下記のような指摘がなされました。

- ・ 西尾候補は、この6年間の総長としての実績から、現在大学が持つ多くの課題を十分に把握しており、それが「OU マスタープラン 2027」に遺憾なく発揮されている。
- ・ 西尾候補は、他の候補と比べて、より適切に将来ビジョンを示していると考ええる。
- ・ ACE プロジェクトは、具体的な施策や実現可能性にも留意しており、他の候補と差別化される内容であると考ええる。
- ・ 西尾候補は、現在大学が抱える課題を把握しているだけでなく、それらを分析した上でアクションを示しているところが他の候補と異なり、かなりしっかりしている。
- ・ 第4期中期目標期間の到来を始めとする、大学を巡る大きな変革の荒波の中では、西尾候補の決断力、実行力、使命感によって着実な大学改革を実行することが期待でき、その点で他の候補より優れていると考ええる。

「選考理由」は上記の議論を経てとりまとめたものであり、このことは、「選考理由」に記載した事項については、意向調査の結果を考慮しても西尾候補が他の候補よりも優れていると判断した委員が過半数であったことを意味していません。

## 2 利益相反の取り扱いについて

利益相反については、総長候補者が確定した段階で、候補者との関係性において利益相反の疑いがあると判断した委員には自己申告をしていただき、当該委員のその後の総長選考に関する議事への関与について、総長選考会議で審議することを予め取り決めていました。

令和3年4月16日に総長候補者が確定した段階で、候補者との関係性において利益相反の疑いがあると判断された場合は自己申告を行うよう全ての委員に照会いたしました。その結果、公表した「総長予定者の決定について」の備考欄2に記載した通り、一人の委員から自己申告があったため、令和3年4月27日

開催の総長選考会議で審議し、当該委員をその後の総長選考に関する議事に関与させないことを決定しました。

なお、利益相反の内容につきましては、総長選考会議として非公開として取り扱う事項に該当しますので回答を差し控えさせていただきます。

以上